

# 経済建設常任委員会会議録

平成21年5月29日(金)

(開会) 10:23

(閉会) 10:46

案 件

議案第74号 専決処分の承認

(平成20年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第3号))

委員長

ただいまから経済建設委員会を開会いたします。

「議案第74号 専決処分の承認(平成20年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第3号))」を議題といたします。執行部に補足説明を求めます。

事業管理課長

議案第74号 専決処分の承認(平成20年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第3号))について補足説明をいたします。

特別会計補正予算書の12ページをお願いいたします。今回の補正予算は、平成20年度予算の歳出の決算見込において、約3億4千万円の収益が出ましたので、そのうち3億円を管理費の小型自動車競走場施設改良基金に積立てるために補正をするものでございます。

主な理由といたしましては、競走路改修、耐震補強を含めた選手宿舍の改修及び選手ロッカーの改修並びに老朽化施設の改善など、将来的な施設改善等の費用に充てるために、基金に積立てるものでございます。以上、簡単でございますが、議案の補足説明を終わります。

委員長

説明が終わりましたので質疑を許します。質疑はありますか。

人見委員

ひとつはこの積立金の3億で計11億になるという話ですが、いくら位まで積み立てる必要があるのか、予定額なるものは、これで頭打ちで積立金としては充足するのか、その点はどうですか。

事業管理課長

先ほど議場の中でも答弁しましたが、平成26年度までに約11億3千万円の施設改善を要してくると、それとまた、走路改修後5年後に全面的な改修工事もありますので、これにつきましては今のところ約3億円程度かかるのではないかと考えています。経常的な費用として約15億円、それと突発的に起こったものに対しましての費用につきましては、この分には含んでいませんのでそこらへんも含めた中の基金積み立てが必要ではないかと考えています。

人見委員

それでは26年度までに今の現時点からすると15億プラスアルファの基金がこの施設改善のために積み立てられる必要性を考えている、このようなことでいいですか。

事業管理課長

そのとおりです。先ほど26年度までには11億3千万円、あと5年以内に30年度までに走路が全面改修ということで、これが3億程度見込まれるということで合わせて15億ということでご答弁させていただきます。

人見委員

あと3年以内に走路の分の3億プラスアルファを出来たら積立てたいと、このようなことだ

ろうと思います。それでこの施設改良基金の積立金はこうした名目をはっきりしているわけですから、これを施設改善以外に使うようなことがあり得るのかどうか、基金の性質上どうなのかなという思いがあるんですが確認だけさせていただきます。

事業管理課長

この基金の目的から言いますとあり得ないと認識しています。

人見委員

今、レース場の従事員の方、臨時も嘱託も諸々おられると思いますが、総じてどれくらいの人数がおられて、よしんば、これを、ある意味では民間に譲渡したとするならば、その整理のための人件費、退職金だとか諸々、総じていうと、過去に聞いたような気もするんですよ - 私レースのこと初めてなのでお聞きしてるんですが - 総じて、現時点で、そういう大胆な民間移譲なるものを断行するとするならば、かかる費用は人件費ベースでいくらくらいになるのか、わかれば教えていただけますか。

公営競技事業部長

まず、従事員の数ですが、はっきりした数字が今無いんですが、300名弱ということですよ。それから民間にこの分を例えば移譲した場合にこの整理費というか - どれくらいかかるかということですが、それにつきましては収支改善計画の初年度18年度にすでにやっております、それが約4億5千万円程度かかっています。退職金もすでに払ってしまっていて、パート化するというので、1日雇いをしています、一応パート化ということをやっています。

吉田委員

先ほど言われてましたけど聞き漏らしまして。走路改修、これは何年後の予定でしたかね。

事業管理課長

平成23年度に表面だけの改修工事を行う予定で、それを過ぎまして、5年か6年以内には全面改修になるかと思っています。

吉田委員

全面舗装改修ですね、これは大体何年に1回くらいの周期で行われてきたんですか。

事業管理課長

土木建設が担当しますが、過去の例を聞きますと約10年程度と聞いています。

吉田委員

10年に1回全面改修が行われるということですね。前回、全面走路改修が行われたのはいつだったんですかね。

事業管理課長

定かではありませんが、平成14年か15年に全面改修したと思います。

吉田委員

そのあとですね、1年くらいが経過したときに、走路に水が溜まりやすい状態になってましたよね、あれの改修みたいなものが行われたと思いますが、あれはレース場持ちだったんですか、業者持ちでやってくれたんでしょうか。

公営競技事業部長

その件につきましては、溜まり方が非常に危険な溜まり方をすると、晴れ濡れ走路みたいなことになるということで、交渉してまいりまして、業者持ちでオーバーレイをしてもらっています。

吉田委員

余程の技術で無いと完全な水捌けは難しいのじゃないかなと思ってはいますが、今のところは大体、全国6場並くらいの雨の残り方じゃないかなと思うんですけど、今度、あと、4、5年先ですよ、そのときには十分この点も注意していただきたいと要望しておきます。

そして今の状態、雨の溜まり具合の説明をおききして質問を終わります。今の状態はどんな

のか100点じゃないですよ、それはどこでも残ります、きちんと雨が止んだら水捌けがすばらしいというのはどこもないと思いますけど、大体、他所並みなのか他所より悪いですかねということなのか、そういうところを答弁お願いします。

公営競技事業部長

質問者言われるとおりでして、結構水が残る走路ということになってはいますが、これにつきましてはオーバーレイを業者持ちでしたときにカーブに排水をしていただいています。直線部分は切り込みを入れただけで、あまり影響が無いということで切り込みを入れただけで今直線部分が非常に残るといふのがありますけど、走るのにはあまり影響がないという状況です。

江口委員

先ほどこれから後の施設改善の話がありました、次の委員会的时候で結構ですので施設改善にどういった部分を検討していて、簡単な説明はありましたが、それについてある程度詳しくどういった形を考えていて、いつごろで、どのくらいかかるのか、また、全体としてですね、収支改善を含めて、これからこんなふうにおトレースを運営していきたいんだよという部分を是非見せていただけるような資料をご用意いただけませんか、そうでないと、今回もそういったものが無くて説明だけという形なんで、分かりづらい部分があるんだと思います。是非そういった部分をお願いしたいと思いますが、どうでしょうか。

事業管理課長

次回以降の委員会で報告させていただきます。

江口委員

併せてですね、先ほど人見委員のほうから民間移譲の場合どうなるのか、人件費の部分がございました、それについては対処が済んでいるというお話がありました、人件費以外の部分についての試算はどうなっていますか。

公営競技事業部長

これは議会の中でも委員会の中でも答弁していますが、今のところ民間委託というのは考えておりません。試算をしたというのは、うちと同等の場ということで浜松オートが民間委託をやっています。その分を参考にですね、契約内容はその事業者とその市ということになりますので変わってくると思いますけど、浜松市を参考に検討したことはあります。

江口委員

そういった部分を含めて提供できるものは随時提供していただきたいと思います。公共施設等のあり方特別委員会の方でも単年度赤字になれば包括的民間委託という話もあっています。そういったときにどれだけのコストがかかるのか、民間委託がいいのか移譲がいいのかという比較も必要だと思います、そういった部分についてもお願いいたします。

東委員

今、民間委託とかいう問題が言われましたけど、5、6年前やったかな、施設改善するときの - 競走会に何%収めよる、国に収めよる、それを減額していただいてそして施設改善をやるということ、4、5年前ですか、あったと思います。そのときに条件が平成20年か - 飯塚市は21年度までにしてくださいと、それから後に返還しましょうとかいうものがあったと思います。そのときに競走会ですか - 20年度までに返還が出来るようになれば民間委託を検討してくださいという条件があったと思います。そうしたときに、今民間委託はないということになれば、それをもう脱皮できたのか、そういう形で民間委託しないでいい、飯塚市だけでそれが出来ていくのか、そのところひとつお願いします。

公営競技事業部長

質問者おっしゃいますように18年度から20年度収支改善したわけですが、収支改善につきましては経済産業大臣の同意があるわけですけど、その同意に対しましては、条件つき同意

ということで同意をいただいています。その中のひとつに包括的民間委託も至急考えなさいということで同意をいただいています。そういう中で経済産業省、JKAといろんな協議を重ねてまいりまして、検討はしますけど今の状況17年度からうちも黒字を出していますので、そういう状況の中で、今は、民間委託はしないといいと - というのは収支改善 - 民間委託するなら収支改善は必要ないわけで、収支改善をなぜやってるかということ、そういうのを自分のところで努力していこうということやってることだから民間委託は必要ありませんということで20年度収支改善を終わっています。

東委員

吉田委員から質問がありましたが、走路の問題ね、これは14、5年に全面改修をしたんでしょ、今度は23年に一部舗装するという、そうしたら - 10年くらいで全面改修ということですか、14年か15年に改装されて今度したら23年やったら8年か9年くらいになります。そのときは舗装だけで全面改修はしないということですね。その後、全面改良をしないといけないことが出てくるわけですね、そうしたら今いう14年か15年の全面舗装したときに、色々問題が出てました、水が溜まるという問題で業者の方が舗装をやり直したという問題点がありますね、これは全面舗装したときにそれが出たんですかね。

公営競技事業部長

質問者おっしゃるとおりで全面改修をした後に、水捌けが非常に悪くて走るのに危険な状態であったということで、それから業者の方でオーバーレイをしたということです。

東委員

そうしたときに、選手会あたりからも不平不満が出てくると思うわけですね、そして今の一部舗装というか - そうする場合は、私が業者これをやめろというわけじゃない - 今度もそういういわゆる失敗した業者をするのか、それと大体全面舗装なりをする場合は業者は2社か3社あったと思うわけです。それが今の舗装したものはずっと長いだろうと思うわけなんですよ、それで長くした経験のあるものがそういう事故的なものですよ、事故ですよ水が溜まるようなことは - それは私もあまり言って来ませんでしたが、そういうことを思い出したときに、今度もその業者さんにするのか、する前には選手会なりの意見は聞くだろうと思いますが、それはどういうふうな形でやろうと思っておられるのか聞かせてください。

公営競技事業部長

まず、舗装に関しての入札ですが6社か7社くらい参加してたと思います。実際オートレース場の中で、その中の舗装業者でやってるのが2社です。ちょうど3つずつのレース場でやっていますが、その分につきましては今後の方針は正直なところ今のところ何も考えていません、当然やる前は、土木建設でやっていただきますが、やる前は様々な関係者に対して意見を聞きながらやっていくという形になると思います。

東委員

土木と話し合いの中でやるときに、一回大きな失敗をしているのだから、二度とないような体制の中でやらないとまたそういうことが起これば、いろいろ出ますよ、そういうことも含めて選手会なり、何なりと話し合いをして、そして技術的なものは飯塚市の土木だけじゃなくて、やはり専門家がいるだろうから、そういう人にも聞いて、二度とそういうことの無いような体制の中で改装なりをしていくようにして下さい。

委員長

ほかに質疑はありませんか。

( ほかに質疑なし )

質疑を終結いたします。討論を許します。討論はありませんか。

( 討論なし )

討論を終結いたします。採決いたします。

「議案第74号 専決処分の承認(平成20年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第3号))」について、承認することに、ご異議ありませんか。

( 異議なし )

ご異議なしと認めます。よって、本案は承認すべきものと決定いたしました。

これをもちまして経済建設委員会を閉会いたします。